

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和6年度期末）

（評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

(1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・昨年度に引き続き、地域負担軽減に向け ICT を活用した地域運営が展開できるよう、デジタルツール活用のための講座を実施しており、CANVA によるチラシ作成や LINEWORKS 開設支援を行うなど、地域における実践に繋がってきている。 ・専門学校や企業等との連携を促進することにより、より良いイベントの開催や担い手不足解消にも繋がっており、地域の活性化を促進している。引き続き、多様な主体との良好な関係を築けるよう支援してもらいたい。 ・地域活動の担い手不足という各地域共通の課題に対し、外部講師による「世代間ギャップを乗り越える」という講座を開催する等、課題に応じた支援を行っている。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

(1) 自由提案による地域支援の実施状況

(2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等

(2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等

(3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・まちセン通信の発行や facebook、公式 LINE アカウントなど受託者の情報発信ツールを活用し、積極的に情報を発信することにより、日頃地域活動に関わりの薄い若い世代へのアプローチを行っている。 ・アドバイザー、支援員による支援体制を整え、本部や他区を受託しているまちセンと情報交換することで、スケールメリットを活かした効果的な支援を行っている。 ・支援員を地域担当制にし、積極的に地域に出向き、まちづくりセンタ

	一が有するファシリテート能力などを活用し、地域との信頼関係構築に努める姿勢は評価できる。
--	--

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・子育て世代向け防災啓発本編集を行うなど、若い世代に向けた取組を行っている。 ・地区防災計画を改定することにとどまらず、HUG などの防災取組をレクチャーし、各地域が抱える課題の解決を支援している。 ・外部から様々な講師を招いて講座を実施するなど、様々な知識の提供や専門家との繋がり場を提供している。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

(1) アンケート調査

(2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・「地域活動協議会が、地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合」は 100%と、昨年の 95.4%からさらに上昇し、全地域において肯定的な意見である。 ・自律的運営に向けた地域活動協議会の取組については、基本点が 100 点の地域は 18 地域中 15 地域、発展も含めた総合点でも 18 地域すべてで 75 点以上となっており、非常に高い点数を維持している。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・若い世代や転入者などが地域活動に関心をもってもらえるよう SNS を活用した広報等の支援など引き続きの取組を期待する。 ・地区防災計画の改定に向けた支援について、全地域での実施をめざし、引き続き取り組まれない。 ・企業、学校、NPO 等と地域活動協議会の連携を支援し、活動の担い手のすそ野が広がるような具体的な取組を検討されたい。 ・日頃より地域ニーズの把握にアンテナをはることにより、各地域が求めている支援を洗い出し、その解決策の提案をより一層きめ細かく進めていただきたい。